

## 臨時支部長会議開催さる

3月5日、間近に迫った100周年記念式典・記念事業について、本会の一体的な取り組みを再確認するため、大分大学経済学部の黒土始記念講堂において臨時支部長会議が開催された。

会議には、東京四極会奥川理事長、久保北九州支部長、丸山長崎支部長、宮本熊本支部長などの県外をはじめ、6人の県内支部長・職域支部長のほか15人の本部役員が会場出席した。

また、経済学部渡邊博子ゼミの協力により、18人の支部長がオンラインにより参加し会議が進められた。



石川会長のこれまでご尽力された関係者への謝意と100周年に向けての激励の言葉を皮切りに、高見大分大学経済学部長、野々下実行委員会委員長が挨拶を行った。

議事では、荒川常務理事が記念式典・記念事業の日程や参加者への案内また記念募金の状況について説明した。

これを受け、各支部長からは記念募金の状況や支部の近況について報告があった。

続いて、高井大分支部長が音頭を取り、全員でガンバローを三唱し、記念式典・記念事業の成功に向けて決意を新たにした。

最後に、相良名誉会長が来る6月25日には、同窓が直に手を取り合って100周年を祝いたいと締めくくった。